



2025年3月27日

日揮ホールディングス株式会社  
株式会社レボインターナショナル  
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

## 東急モールズデベロップメントが廃食用油を提供する商業施設を7つに拡大 ～2025年4月1日から飲食72店舗で発生する廃食用油を提供し脱炭素社会の推進に貢献～

日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長 CEO：佐藤雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レボインターナショナル（代表取締役 CEO：越川哲也、以下「レボインターナショナル」）、並びに合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表：秋鹿正敬、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）の3社は、株式会社東急モールズデベロップメント（代表取締役社長：山川貴史、以下「東急モールズデベロップメント」）が運営管理する施設で使用された食用油（以下「廃食用油」）を国産 SAF へ再利用する取り組みに関し、2025年3月1日（土）からグランベリーパーク（所在地：東京都町田市）で、2025年4月1日（火）からは、たまプラーザ テラス（所在地：神奈川県横浜市青葉区）および港北 TOKYU S.C.（所在地：神奈川県横浜市都筑区）、青葉台東急スクエア（所在地：神奈川県横浜市青葉区）、武蔵小杉東急スクエア（所在地：神奈川県川崎市中原区）、五反田東急スクエア（所在地：東京都品川区）の飲食店舗など、合計72店舗で発生する廃食用油を回収することになりましたので、お知らせします。



▲ 7つの商業施設

日揮 HD、レボインターナショナル、SAFFAIRE SKY ENERGY、東急モールズデベロップメントの4社は、廃食用油を国産 SAF へ再利用する取り組みに協力することを目的とした基本合意書を2023年に締結し、2024年4月からみなとみらい東急スクエア（所在地：神奈川県横浜市西区）の飲食店舗で発生する廃食用油の回収を行っています。

みなとみらい東急スクエアの9つの飲食店舗では、これまで廃食用油を約2,700リットル（2024年4月～2025年3月実績見込み）回収してきました。2025年3月以降は、新たに6施設を加え、東急モールズデベロップメントが運営する合計7つの商業施設72店舗で年間約66,000リットル（2025年度見込み）の廃食用油を回収できる見込みです。これによるCO<sub>2</sub>削減効果は年間およそ150トン程度※の見込みです。




既に提供している店舗からは「廃棄物処理コストの削減のみならず、サプライチェーンの健全化に繋がっていることに意義を感じている」という声や、新規の参画店舗からは「私たちの店から出る油が航空燃料に変わると聞いて驚いたが、少しでも環境に貢献できるのは嬉しい」という声をいただいています。参画する商業施設と飲食店舗を拡大することで、昨今上昇する店舗運営コストを効率化しながら、資源の有効活用による「循環型社会の実現」および「脱炭素社会の推進」に貢献します。

2025年は、東急モールズデベロップメントによる本プロジェクトの取り組みの積極的な発信に加え、家庭で発生する使用済み食用油の回収などのイベントの開催を予定しており、3社もこの取り組みに協力していき

ます。

※CO<sub>2</sub> 排出削減効果は、ICAO CORSIA 資料に基づき日揮 HD 算出

■ 廃食用油を提供する飲食店舗(※ 一部を五十音順に記載)

 <b>とんかつ 新宿 さぼてん</b>	このうどんは、生きている。 <b>丸亀製麺</b> <small>丸亀製麺</small>	  <b>WIRED KITCHEN</b> <b>WIRED CAFE</b>
<とんかつ新宿さぼてん> たまプラーザ テラス グランベリーパーク 武蔵小杉東急スクエア みなとみらい東急スクエア	<丸亀製麺> たまプラーザ テラス グランベリーパーク	<ワイアードキッチン/WIRED CAFE> グランベリーパーク 武蔵小杉東急スクエア

日揮 HD、レポインターナショナル、SAFFAIRE SKY ENERGY の3社は、今回の取り組みを通じて、東急モールズデベロップメントと共に、廃食用油を原料とする国産 SAF のサプライチェーンの構築を加速し、資源の有効活用による「循環型社会の実現」および「脱炭素社会の推進」に貢献してまいります。

【国内初の SAF 大規模生産事業の概要】

日揮 HD とレポインターナショナルは、コスモ石油株式会社と共同で、国内における廃食用油の収集から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022 年に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約 3 万キロリットルの SAF の供給を目指しています。2024 年 12 月にコスモ石油堺製油所(大阪府堺市)内において SAF 製造装置の建設が完了し、2025 年 4 月頃からの供給開始を見込んでいます。供給する SAF は、国際的な持続可能性認証である ISCC CORSIA 認証を取得しています。なお、本事業は NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)より採択※を受けた助成事業です。

※NEDO ホームページ:[https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3\\_100312.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html)



完工した SAF 製造装置  
(コスモ石油堺製油所構内)

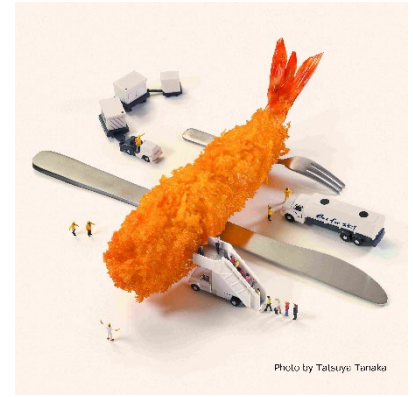


SAF の原料となる廃食用油受け入れ施設  
(コスモ石油堺製油所構内)

## 【Fry to Fly Project について】

「Fry to Fly Project」は、家庭や店舗などで発生する使用済み食用油を原料とする SAF を用いて、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。プロジェクトは日揮 HD が発起人となって設立し、設立主旨に賛同する企業・自治体・団体が、家庭や飲食店など身近なところで発生する廃食用油の提供を通じて、日本国内における資源循環の促進に直接参加しています。

特設ホームページ：<https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/>



## 参考リリース

みなとみらい東急スクエアの飲食店舗からの廃食用油収集を4月1日に開始 ～東急モールズデベロップメントと、国産 SAF 製造に向けた取り組みを推進～

<https://www.jgc.com/jp/news/assets/pdf/20240415.pdf>(2024年3月25日)

以上